

小林美恵 ヴァイオリン Mie Kobayashi, violin



©Akira Muto

人間の手によって創られ、人間よりはるかに長い命を授けられたヴァイオリン。人は何をヴァイオリンに求め、託し、またヴァイオリンは何を表現されるのを望んでいるのだろうか。

ヴァイオリンの神秘にせまるシリーズ、第2回は「ヴェルサイユの光と影」。フランスの作品を取り上げます。

今でもパリに初めて降り立ったときの、街の空気、匂い、喧騒、色、ネオン、セーヌ川…鮮明に思い出します。いつ訪れても、インスピレーションが刺激され、私には心浮き立つ場所です。初めて訪れてから暫くして、今度はどっぴりとフランス音楽に足を踏み入れていくことになるのですが、ちょうど同じ頃、パリで知り合った横山幸雄さんとまたこうして、一緒に演奏できるのはなんと嬉しいことでしょう。1回のコンサートでフランス音楽を語り尽くすことはできませんが、皆様の心に、何か少しでも香り立つエッセンスを残せたらと思います。

Profile 東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。84年海外派遣コンクール河合賞受賞。88年にはシボリア国際ヴァイオリンコンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。90年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のAOIレジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演するなど音楽祭にも積極的に参加している。CDは、「プレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ」「ラヴェル&エネスコ ヴァイオリン・ソナタ集」、ツイゴインルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」など多数リリース。2010年には、紀尾井ホールでデビュー20周年の記念リサイタルを行い、同年ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。12年には、パキスタンで行われた日パキスタン国交樹立60年の記念演奏会に出演。そのほか、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。15年のデビュー25周年は、2年間で6回の記念リサイタルを企画、好演。18年2月より、Hakujū Hallにてヴァイオリンの魅力にせまるリサイタル新シリーズを開始した。今後も日本を代表するヴァイオリニストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など全国各地で公演が予定されている。現在、昭和音楽大学客員教授。 公式ホームページ <http://miekobayashi.com/>

横山幸雄 ピアノ Yukio Yokoyama, piano



©アールアンフィニ

Profile 1990年ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数々の賞を受賞。以来、人気実力ともに常に音楽界をリードするトップ・アーティストとして活躍している。ショパン生誕200年を迎えた2010年に、ポーランド政府より、ショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・バスポート」が授与される。同年「ショパン・ピアノ・ソロ全166曲コンサート」を行う。多くの観客に感動と反響を巻き起こし、ギネス世界記録に認定されたこの公演は、毎年少しずつ形を変えて、ゴールデンウィークの恒例コンサートとなる。11年デビュー20周年記念コンサートでは、チャイコフスキー、ラヴェル、ラフマニノフの協奏曲を一夜で演奏し、満場の喝采を博す。13年からベートーヴェン生誕250周年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」をスタートさせるなど、自ら企画する数々の意欲的な取り組みにより、高い評価を確立している。リリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際Fリスト賞レコードグランプリ最優秀賞など栄えある賞を受賞。11年上野学園石橋メモリアルホールで行った「横山幸雄プレイエルによるショパン・ピアノ独奏曲全曲集」をホールとキングレコードとの共同事業(全12タイトル)でCDリリース。また、12年にデビュー20周年記念コンサートのライブ録音のCDをリリースした。アールアンフィニレーベル(ソニー・ミュージックダイレクト/ミューズエンターテインメント)からリリースされた「プレイズ・リスト2013」、「プレイズ・シューマン2014」、「プレイズ・モーツァルト2015」、「アンブロンプチュ/シュベルト即興曲集」、「雨だれのプレリュード/ショパン名曲集」はいずれも連続してレコード芸術誌で特選となった。最新CDは「ファンタジー」(17年9月リリース)。TOKYO FM「横山幸雄のピアノでめぐり逢い」のパーソナリティをつとめ、東京と京都にレストランをオープンし音楽と旬の食をプロデュースするなど、活躍は多岐にわたる。上野学園大学教授、エリザベト音楽大学客員教授、日本パレストラスキ協会会長。

公式ホームページ <http://yokoyamayukio.net/>

浦久俊彦 ナビゲーター (作家・文化芸術プロデューサー) Toshihiko Urahisa, navigator



その甘美な音色は、天使の歌声か？ 悪魔のささやきか？ 人の手によるもっとも完璧な楽器と言われる「ヴァイオリン」。その神秘的な魅力に迫る、小林美恵の新シリーズ、大好評第2弾！

舞台は、フランス栄華の象徴、ヴェルサイユ。壮麗な宮殿を彩ったのは、「王の24のヴァイオリン」と呼ばれた、ヴァイオリンの名手たちでした。はるか北イタリアのクレモナでは、天才職人ストラディヴァリらによる至高の名器が産声をあげる…そう、時代はまさに、ヴァイオリンの黄金期だったのです。

これまでにない多彩な角度からヴァイオリンの魅力を徹底解剖！ 目からウロコまがちな誰誰もが楽しめる新感覚トーク&コンサートです。

Profile 作家、文化芸術プロデューサー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に音楽を中心に、幅広く文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、浦久俊彦事務所を設立。多彩な分野のアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、公益財団法人日仏会館文化交流事業委員として、日本とヨーロッパの文化交流に力も注いでいる。著書に「フランク・ツリはなぜ女たちを失神させたのか」(新潮社)、「138億年の音楽史」(講談社)がある。

公式ホームページ <http://www.urahisa.com>

第2回

「ヴェルサイユの光と影」

小林美恵 フランスを弾く

次回以降のシリーズ

第3回 「ロマンの歓喜と狂気」 小林美恵 シューマンを弾く 2019年4月20日(土)
第4回 「天使と悪魔」 小林美恵 イタリアを弾く

第5回 「クリムの幻影」 小林美恵 ウィーン世紀末を弾く
第6回 「宵ひ待ち草がみた夢」 小林美恵 東欧&アジアを弾く

チケットお申し込み

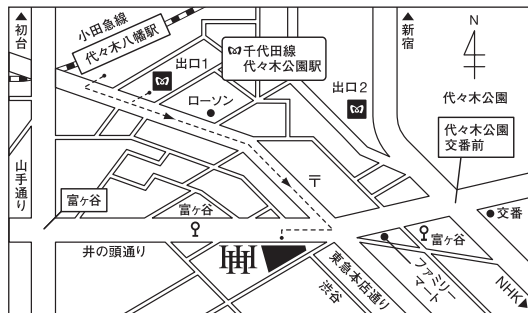
Hakujū Hall チケットセンター
03-5478-8700 火~土 10:00~18:00 (祝日・休館日を除く)

オンラインチケット予約 <http://www.hakujuhall.jp/>

■ローソクチケット 0570-000-407 (Lコード: 34257)
■イープラス <http://eplus.jp/hakujū/>

DM会員先行発売日
2018年
5月12日(土)

一般発売日
2018年
5月19日(土)



〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 TEL 03-5478-8867
最寄駅: 代々木公園駅(千代田線) 徒歩5分 / 代々木八幡駅(小田急線) 徒歩5分
バス: 富ヶ谷バス停下車 徒歩1分 / 渋谷駅西口バスターミナルより10分
※渋谷61(初台行)、渋谷63(中野行)、渋谷64(中野行)、渋谷66(阿佐ヶ谷行)、渋谷69(笹塚循環)

DM会員
募集中

年2回のDM案内、先行予約、先行予約時の割引。ご登録料・会費は一切の無料です。ご登録・詳細はホールHPまたはチケットセンターお電話まで。

- * 最終列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。
- * 出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- * 出演者・曲目の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。
- * 一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。
- * 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakujū Hallまでご連絡ください。
- * ホールには駐車場はございません。

HAKUJU

株式会社白寿生科学研究所は、音楽を通じて「ゆとりある精神」を実現する場を提供いたします

ハクジュホール

検索